

第2章 総合戦略（後期基本計画実施計画）における重要業績評価指標（KPI）及び指標の達成状況



I 概要

1 内容

後期基本計画では、各「主要な施策」に平成31年度の「数値目標」を設定しています。この「数値目標」に向かって、毎年の「目標値」を実施計画に掲載しています。その「目標値」と「実績値」で達成度を測っていきます。

今回、「実績値（令和元年度）」は、実績値を掲載しました。（ の部分です。）特徴的な項目には、表外に分析や取組を掲載しています。また、後期基本計画の目標年度は令和元（平成31）年度ですので、後期基本計画には、目標値は設定されていません。

2 数値の見方

①	基本目標1 地域経済を活性化し、安定した雇用創出を実現する 目標1-① 工業の振興 施策1 工業の振興	重要業績評価指標(KPI)							
		基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
②	大竹港で取り扱う貨物の量 〔港湾調査 (広島県)]	目標値	—	—	155万t	160万t	160万t	160万t	160万t
		実績値	145万t	140万t	138万t	156万t	147万t	145万t (速報値)	
③	(1)企業支援事業(214,215)	指 標							
④	産業奨励金の措置指定件数 ※工業・サービス業等複数の業種の合計	基準値(H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
		目標値	—	—	3件	5件	6件	7件	7件
		実績値	2件	1件	5件	4件	1件	0件	

◇表中の記載は、説明例として加工したものであり、数値等は実際の事業計画の記載と異なる部分があります。

①：総合戦略の体系です。

3つの「基本目標」・15の「目標」・39の「施策」から構成されています。

「施策」はいくつかの「事業」で構成されます。各施策の方向性や事業の内容は、総合戦略（後期基本計画実施計画）をご覧ください。

②：施策の効果を測る指標です。（施策評価）

施策全体を客観的に評価する目安です。めざすべき姿の実現により得られる効果で評価します。〔 〕は数値の引用元の名称です（資料がある場合のみ）。

目標値：平成26年度を基準値として設定した令和2年度までの目標値です。

実績値：各年度の数値が把握できた時点で記載します（調査時期により、年度が終了しても記載できていないものもあります）。

欄外に、指標に関する分析や事業などを記載しています。なお、KPIによる施策評価は外部委員で構成される推進会議でも実施しています。

③：大事業の名称です。

施策を実現するための複数の「具体的な事業」をまとめたもので、後期基本計画の「大事業」の名称と一致します。

④：大事業の進捗状況や達成状況を測る指標です。（事業評価）

目標値：平成26年度を基準値として、令和2年度までの目標値を記載しています。ただし、H27年度以降に開始した事業の場合は基準値がありません。

〔 〕は数値の引用元の名称です（資料が有る場合のみ）。

実績値：各年度の数値が把握できた時点で記載します（事業開始前は「－」となっています）。